

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3		・基準の面積は十分に満たしているが、利用人数や車いす利用者の増加、また、活動を2つのグループに分けて実施することで安全面への配慮はできるが、その分、窮屈な時(日)もある。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	3		・基準配置は満たしているが、利用者数の増加、介助場面において対応する人員が不足していることもある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		・事業所全体はバリアフリー化の配慮がなされている。 ・児童のトイレに安全バーなどの設置がない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	3	4	・日常業務についての話し合いは必要に応じて実施したり、毎月の会議にて話し合いを行っているものの、目標の設定や振り返りなどは十分にできていない。 ・今後は毎月の会議を中心に話し合い、確認の場を設けていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	3	2	・前年度にアンケートを実施。これまでも複数のアンケートなどを行い保護者の意向の把握に努めているが、十分な業務改善までには至っておらず、今後、意向をふまえて取り組んでいく予定。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				・今年度より公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			8	・第三者による外部評価は実施していない。 ・現在は必要性がないと判断。今後は必要性に応じて外部評価を取り入れることもある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	5		・外部研修への参加はできているが、内部研修が不足。 ・外部研修の参加したくとも日程調整が難しく、参加できないこともある。 ・今後は外部研修への継続的な参加に加えて、内部研修(会議等での伝達・研修)の充実に努める。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・アセスメント(聞き取り)を行った上で、児童発達管理責任者を中心に、複数の職員で話し合いの場を設け、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	5	2	・現在のアセスメントシートのみでは情報としては不十分な点が多い。今後は、個人の状況に応じて、アセスメントシートの見直しや簡単な評価シートの作成などが必要と考える。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	4	・チーム全体という点では不十分。職員全員での話し合いの時間を設けることが難しい。 ・今後は担当者を中心に複数の職員で話し合い、立案していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3		・固定化しない様に様々な活動を考えている。 ・内容の工夫や充実を図っているものの、似たような活動になることもある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	5	1	・平日は時間的な課題も多く、支援の実施が難しい。 ・まずは土日や長期休暇など1日利用時の支援・課題の設定の充実を図る。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3	1	・個々の状態・希望に応じて計画を作成しているため、個別と集団活動の目標が設定されている人もいれば、それぞれしかない人もいる。 ・適宜組み合わせとなれば、計画書等の書式の見直しが必要。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	6		・事業所での朝礼の他に児童職員による申し送りを14時に実施しているものの、詳しい内容までは確認できていないこともある。 ・今後は活動内容の確認や個別の対応、処置などの必要がある方は随時確認していく。申し送りノート、日案の活用で情報共有を図る。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	6	1	・気になる点などについては、職員間で話し合うことはあっても、振り返りの時間の確保が難しく、実施できていないことが多い。 ・今後は申し送りノート、日案などへの記入で情報共有を図り、必要性に応じて話し合いの場を設ける。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	4		・毎日、担当者を決め、記録の入力を行っている。学校や家庭からの情報、話についての記録の徹底も行うことで支援の検証・改善を行う。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・半年に1回のモニタリング。モニタリングに関しては複数の職員で話し合いを行うことで支援の振り返りや見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	5		・ガイドラインの基本活動のうち、自立支援や創作活動、余暇の提供などはできているが地域交流の機会が少ない。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	3		・児童発達支援管理責任者に加えて、看護師や指導員等も会議に参席。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		・必要に応じて学校との情報交換を行っているが、細かい部分でのやりとりでは連絡調整で思うようにいかない部分もある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	5	・主治医との連絡体制は整っていない。(整えることが難しい)今後、医師の指示書などを通して、事業所内での対応の充実を行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		6	2	・すべての利用児童にはできていないが、利用開始する年齢や必要性に応じて情報共有を行っている。今後も、年齢や必要性に応じて情報共有を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	4		・法人内(放課後等デイサービス⇔生活介護・短期入所など)は情報共有ができている。 ・その他の事業所であっても、必要に応じて情報の提供や共有を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5	1	・今年度に一度、研修・助言を受けた。今後もそのような機会を増やしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	5	・近隣の中学校の行事参加や事業所行事への招待を行っているが交流機会は少ないと感じる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		3	5	・法人内の相談支援事業所(ホープ)については参加。やまさんとしては参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	3		・送迎時や面談時に話をするが、なかなか家族と会えないこともあることが課題で、必要に応じて話し合いの場を設ける。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	5	・ペアレントトレーニングについて職員間で勉強をする必要がある。 ・支援についても個別の家庭環境や状況に応じて支援を検討する必要がある。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に児童発達支援管理責任者より実施。</li> <li>・不明な点などあればその都度対応していく。</li> </ul>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの話・相談を聞くことはできても助言と支援が十分に行えているかは難しい。</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、給食試食会を実施。その時に知り合った家族がその後もつながっている。今後も保護者同士の連携が深まる行事の開催や参加の呼びかけを継続して行っていく。</li> </ul>
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの意見や要望があったさいは、職員間での確認などを行っている。</li> <li>・関わりや介助方法についても保護者の要望を踏まえながら、職員間で統一した支援が行えるようにマニュアル等の見直しを定期的に行っていく。</li> </ul>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、継続的な会報等の発行ができていない。今後、毎月のお便りにて活動の様子やお知らせを発信している。</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に個人情報についての確認を行い、取り扱いについては十分に配慮している。</li> </ul>
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に応じたコミュニケーションの実施などに努めている。</li> <li>・保護者との情報伝達は送迎時が主で、必要に応じて来所や電話連絡などで配慮していく。</li> </ul>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り、クリスマス会などイベント時は地域住民や近隣の中学校を招待している。</li> </ul>
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルについては作成、職員への周知は行っているが、保護者への説明は契約時が主ですべてを周知できているとは言えない。</li> <li>・今後は必要に応じて説明を行ったり、お便り等にて知らせていく。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災についての避難訓練は年に2回実施。その他、水害や震災などの訓練は実施しておらず、今後検討していく必要がある。</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待に関する研修への参加や会議での報告、アンケート(虐待防止におけるセルフチェック等)の実施を行っている。</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員によるアセスメントや同意書の実施、毎月の会議にて使用時間や必要性について話し合いを行っている。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		3	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、指示書の提出の必要性はなく、家族等との情報で食事等の提供に関して配慮している。</li> <li>・今後は必要性に応じて、ご家族へ依頼していく。</li> </ul>
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例集は作成していないが、事故報告書・ヒヤリハット報告書は掲示することで職員間の周知・情報共有を図っている。</li> </ul>	